

# 寺山修司と天井棧敷◎ポスター展

## 演劇実験室◎天井棧敷の宣伝美術の全貌

2011年10月27日(木)~12月6日(火) 11:00 — 20:00(最終日は17:00まで)

無休/入場無料

記念トークショー

◎出演=九條今日子(寺山修司元夫人/プロデューサー)×笹目浩之(寺山修司記念館副館長/ポスターハリス・カンパニー代表)

◎日時=2011年10月27日(木)18:30 — 19:30 ◎場所=オリエンタルホテル広島3F「チャペル」

◎定員=80名 参加無料・要申込・先着順締切

◎お申込=電話にてお申し込みください。オリエンタルデザインギャラリー 082-240-9463(直) 受付時間 11:00~20:00

オープニングレセプション 10月27日(木)19:30 — 20:30(参加無料)

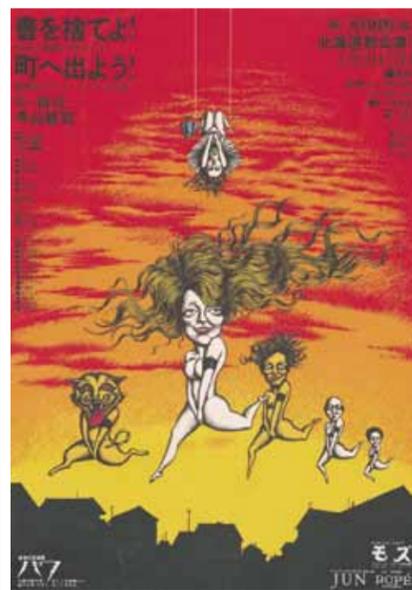
# 寺山修司と 天井棧敷◎ポスター展

## 演劇実験室◎天井棧敷の宣伝美術の全貌

2011年10月27日(木)~12月6日(火)  
11:00 — 20:00(最終日は17:00まで)

無休/入場無料

記念トークショー 10月27日(木) 18:30 — 19:30(無料・要申込)  
オープニングレセプション 10月27日(木) 19:30 — 20:30(参加無料)



書を捨てよ町へ出よう! 及川正通 1969



百年の孤独 戸田ツトム/合田佐和子 1981

世界屈指の前衛劇団(アヴェンギャルドカンパニー)として、国内外で活躍した「演劇実験室◎天井棧敷」(1967~1983)の演劇公演のポスター。これらのポスターの多くはシルクスクリーン作品で現在美術の評価も高く、現存する枚数は僅かです。1960年代から70年代、世界の若者の既成の秩序に対する異議申し立てに同調するように日本の演劇界でも、新劇とはまるで異なる世界を創造することを目指した小劇場運動(いわゆるアンガラ演劇)が勢いをもち、寺山修司(天井棧敷)、唐十郎(状況劇場)、鈴木忠志(早稲田小劇場)、佐藤信(黒テント)らがそれまでにない実験的な舞台を繰り広げていきました。この頃、舞台と相乗効果をもたらしたのが、このアンガラ劇団の旗印として登場したポスターです。

特に寺山修司が主宰した天井棧敷のポスターには、1967年の劇団旗揚げメンバーでもあった横尾忠則をはじめとして、粟津潔、宇野重喜良、金子國義、林静一、及川正通、花輪和一、合田佐和子、戸田ツトムなど、多くのアーティストがかかりました。彼らの手によるポスターは、単なる公演告知のポスターの枠を越え、日本が熱く燃えた時代を鋭く切り取り、それらのポスター自体が発するメッセージは時代を越え今も輝き続けています。時にはそのデザインが舞台の演出にまで影響を与えたこともあります。そんな作品を見ていると今にも舞台が蘇ってくるような興奮に包まれます。

ぜひとも演劇界にとどまらず、美術界やグラフィックに関心のある若者や、60~70年代の冒険の時代を生きた多くの方にもご覧いただきたく存じます。



撮影:有田泰而

寺山修司(てしましゅうじ)  
1935年12月10日、青森県生まれ。18歳で短歌研究新人賞特選「チェホフ祭」を受賞し、歌壇に鮮烈にデビューする。67年には横尾忠則、東由多加、九條映子らと「演劇実験室◎天井棧敷」を結成。海外でも多数公演を行い、高い評価を得た。詩人、エッセイスト、小説家、評論家、作詞家、映画監督、劇作家、競馬エッセイなども。1983年5月4日47歳で急逝。1997年、多感な少年時代を過ごした青森県三沢市に寺山修司記念館開館。



オリエンタルホテル広島  
オリエンタルデザインギャラリー

730-0026 広島県広島市中区田中町6-10  
オリエンタルホテル広島内1F  
TEL 082-240-9463(直)  
<http://www.oriental-hiroshima.com/>

### ACCESS

- JR広島駅より車で約5分
- 広島新空港より車で約60分
- 宇品港より車で約15分
- 五日市I.Cより車で約30分
- 山陽自動車道広島I.Cより車で約20分



天井棧敷定期会員募集 横尾忠則 1967



男装劇 星の王子さま 宇野重喜良 1968



犬神(フランクフルト公演) 粟津潔 1969